

(6)あらたな輸送計画を策定する場合は、緊急事態として想定されうる自然災害、テロを含む軍事攻撃、輸送事業者による船舶の緊急事態等について基準を定め、対応策を含む「特定重大事故対処方針」を策定する必要があります。そのためには、そういう事態が発生しうることを国が各地方自治体や住民に対して正確かつ率直に情報提供し、それでも輸送を行うことを前提に対策を行うことにつき了解を得る必要があります。そうした手順を踏んで実施するべきではないですか。

【回答】原子炉等規制法と船舶安全法などの関連法令を遵守。

3-2. むつ市リサイクル燃料貯蔵

むつ市リサイクル燃料貯蔵(株)のリサイクル燃料備蓄センターへの貯蔵は、中間貯蔵と呼ばれています。協定上は50年しか貯蔵できないことをちゃんと認識していますか。その後、これらの燃料をどうするのでしょうか。監督官庁として今後の見通しをお聞かせ願います。

【回答】貯蓄期間が最大50年のものは貯蓄期間が満了する50年より前の段階から再処理工場に順次搬出する。再処理工場の竣工を実現に向けてしっかり取組みを進めていきたい。

3-3. 六ヶ所再処理施設

六ヶ所再処理施設は30年以上も前に計画され稼働予定が26度も延期され、稼働の実現性について多くの専門家が否定的です。

(1)今までに日本原燃及び国が費やした費用(税金と電気料金が原資)を改めて明らかにしてください。

【回答】これまでに5.7兆円拠出。

(2)アクティブ試験の実績が示すように、稼働すれば膨大な放射性物質の放出が予想されます。それでも再処理を行うのですか。

【回答】使用済み燃料を再処理すると一定の放射性物質が大気や海洋に放出される。原子炉等規制法に定める人体の被曝量年間1ミリSv以下にする。

(3)稼働しない場合には、全国から集められた使用済核燃料約3,000トンについて、青森県に置き続けることは協定上できないこととされています。経産省はこのことを認識しているのですか。

【回答】政府としましては、青森県を高レベル放射性廃棄物の最終処分地とはしない方針。再処理工場の竣工にむけて審査・検査への円滑な対策など、事業者と一体となって、しっかり取組みを進めていきたいと考えている。

【意見】六ヶ所再処理工場が31年前に着工して27回目の延期が確実で、今年9月の竣工という状況にはない。設工認の審査で3100ページ間違いなど審査が進みそうにない。数年のうちに竣工を迎えるのは無理だろうと私たちは思っている。次の世代に迷惑をかけないように六ヶ所再処理工場を早く中止するという選択をすべきではないか。

【回答】再処理以外に搬出していくとか、直接処分をする、再処理以外に搬出するということを今は想定していない。

【意見】核燃料サイクルは裸の王様、使用済み燃料がどんどん溜ってくるのですよ、使用済み核燃料の輸送はリスクと被曝の拡散ですよ。六ヶ所再処理工場は動かないだろう。それなのに、わざわざ柏崎刈羽から使用済核燃料を、危険を冒して青森に持っていくという馬鹿げたことをしないでいただきたい。仮に六ヶ所再処理工場が動いても年間800トンも再処理できない、せいぜい200トン。

【回答】いただいたご意見を伝えさせていただきます。

【意見】再処理施設が動いたら大変な量の放射能をまき散らす。原発が1年で出す放射能を再処理は1日で出すのではないか。経産省を代表して出ている方は、今年度中に再処理処理工場が動かなかつたら責任とるつもりですか？今の発言にどういう責任を取るのですか。核燃料を輸送すれば必ずプールに空きができる。なぜ空きをつくるのか？新しい核燃料が入ったプールが崩壊でもしたらどうなるのか？福島4号機のプールがとんでもない事態になっていたことを思い出してもらいたい。

【回答】現時点で再処理工場の竣工目標を延期することは報告を受けていないという回答につきる。その上で、もし動かなければどうなるかということについても、組織としての回答を改めて考えてまいりたいと言う風に考えます。

【意見】青森県の説明会では、RSFからの搬出先が再処理工場かどうか曖昧。経産大臣が7月23日には六ヶ所再処理工場を想定と言ったようだが。また、敦賀2号の審査「不合格」は動かさないだろう。日本原電の会社の存続が難しいのでは。

【回答】経産大臣の発言どおり、六ヶ所再処理を想定に間違いは無いと思う。日本原電は事業者として責任を持ってRFSの安全操業にしっかり向き合っていきたいと考えている。

【意見】皆さん、個人で考えることをしませんか。こんなに人の手に負えないものは廃炉にしなければいけないことを分かっているらっしゃると思う。

【意見】核燃料サイクルが破綻していることを誰も言い出せない状態は、戦前に敗北が明かな日本で誰も戦争を止められない状態と一緒にないか、という言い方もされている。六ヶ所再処理が動かないことが明らかになったらいろいろなことが破綻してくる。だけどそんな中でどうして、柏崎から青森に核燃料を持って行くのですか、地震がまたいつ来るか分からない時に。

(終了)